

<p>研究代表者</p>	<p>所属学系・職名 生命・環境学系 准教授 氏名 川崎 興太</p>
<p>研究課題</p>	<p>人口減少・超高齢時代における都市計画・まちづくりのあり方に関する研究 A study of planning in an era of falling birthrates, an aging society, and a shrinking population.</p>
<p>成果の概要</p>	<p>1. 成果の概要</p> <p>現在、我が国では、人口減少社会や超高齢社会への移行のほか、地球環境問題の深刻化、財政状況の逼迫化などを背景として、拡散型都市構造から集約型都市構造へと都市構造を変革することが求められている。</p> <p>本研究は、こうした背景のもとに、今後の都市計画・まちづくりのあり方について、多角的な考察を行うことを目的として実施したものであり、主として、以下の成果を得ることができた。</p> <p>①都市再生整備計画事業（まちづくり交付金）の活用実態や課題について、市町村、福島県庁、国土交通省などに対するヒアリング調査、現地調査、文献調査などを通じて明らかにした。</p> <p>②空き店舗対策事業の活用実態や課題について、事業者、市町村、福島県庁、経済産業省などに対するアンケート調査やヒアリング調査、現地調査、文献調査などを通じて明らかにした。</p> <p>③市街化調整区域における開発許可制度の活用実態や課題について、市町村、福島県庁、国土交通省などに対するヒアリング調査、現地調査、文献調査などを通じて明らかにした。</p> <p>④地方都市における郊外住宅団地の居住実態と再生に向けた課題について、住民に対するアンケート調査、現地調査、文献調査などを通じて明らかにした。</p> <p>⑤環境未来都市における事業実施の実態と課題について、市町村や内閣府に対するアンケート調査やヒアリング調査、現地調査、文献調査などを通じて明らかにした。</p> <p>2. 具体的な成果</p> <p>上述した主たる成果のうち、④の地方都市における郊外住宅団地の居住実態と再生に向けた課題に関する研究の具体的な成果を掲げると、以下の通りである。</p> <p>我が国では、高度経済成長期に、住宅不足に対応するため、多くの住宅が郊外部に建設された。このような地域では、居住者の高齢化、地域コミュニティの崩壊、空き地・空き家の増加など様々な問題が生じている。こうした背景のもとに、本研究では、福島市蓬莱団地を事例として、世帯主と子ども世代双方を対象としたアンケート調査等を実施し、①居住実態や居留意向からは、今後</p>

も、人口減少が進行することが予想されること、②それでも、子ども世代の約40%が住宅継承について積極的な考えを持っていることに加え、子ども世代の約55%は住宅継承について、まだ、決めていないこと、③蓬莱団地の持続可能性を高めるためには、魅力的な生活環境整備、例えば、買い物環境や公共交通環境の改善が必要であることを明らかにした（図1～図4を参照）。

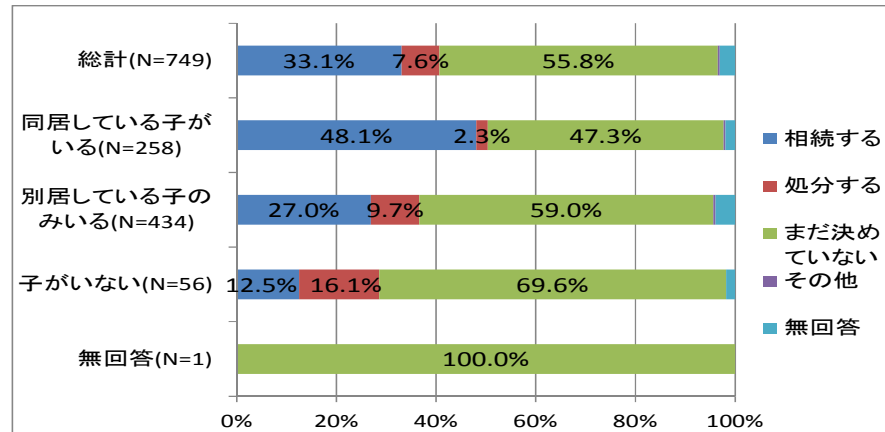


図1 世帯主の住まいの相続・処分の予定（土地・建物を自己所有している世帯の世帯主が対象）

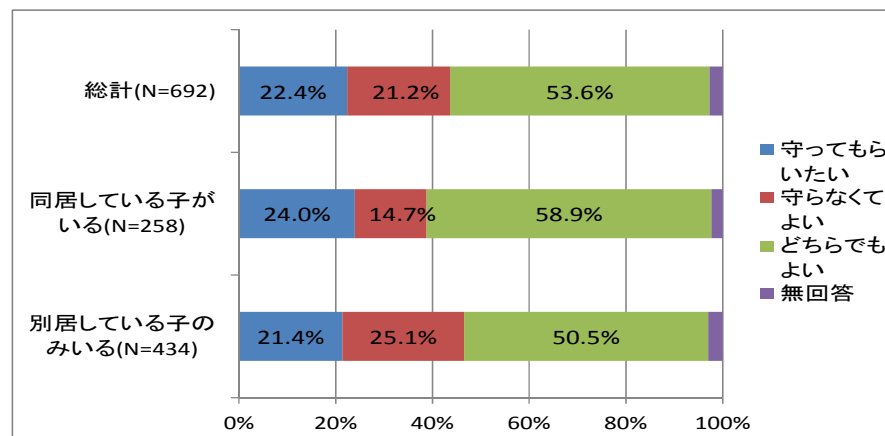


図2 世帯主の住宅継承意向（土地・建物を自己所有しており、子どもがいる世帯の世帯主が対象）

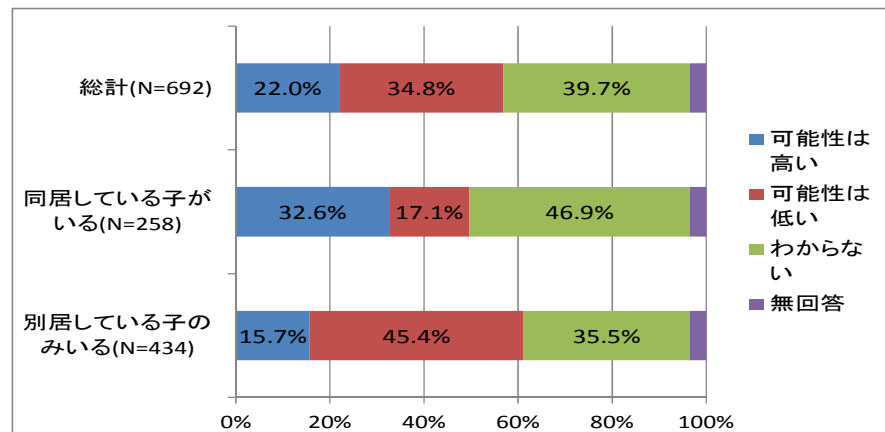


図3 世帯主から見た子どもの住宅継承の可能性（土地・建物を自己所有しており、子どもがいる世帯の世帯主が対象）

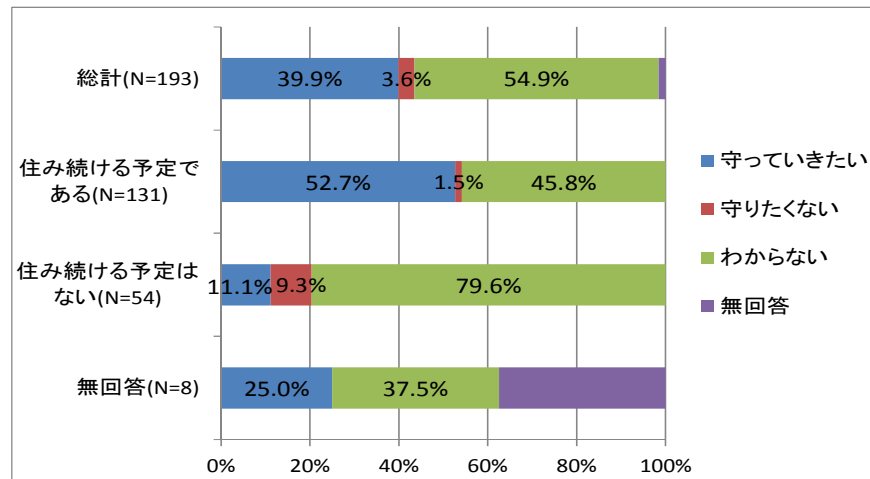


図 4 子ども世代の住宅継承意向（土地・建物を自己所有している世帯の世帯主の子どもが対象）

### 3. 研究論文等

本研究を通じて得られた成果については、研究論文や講演会など通じて公表した。例えば、以下の通りである。

- ・鈴木裕香子・川崎興太（2015）「空き店舗対策事業の運用実態と課題－福島県内の市町村を事例として－」『2014 年度日本都市計画学会東北支部研究発表会発表予稿集』論文番号 11（口頭発表：2015 年 3 月 8 日、コラッセふくしま）
- ・吉岡美知瑠・川崎興太（2015）「「環境未来都市」構想の取り組み実態に関する調査・研究－被災地枠 6 都市を対象として－」『2014 年度日本都市計画学会東北支部研究発表会発表予稿集』論文番号 14（口頭発表：2015 年 3 月 8 日、コラッセふくしま）
- ・小関真悟・川崎興太（2015）「市街化調整区域における開発許可制度の運用実態と課題に関する研究－福島県内の線引き都市を対象として－」『2014 年度日本都市計画学会東北支部研究発表会発表予稿集』論文番号 16（口頭発表：2015 年 3 月 8 日、コラッセふくしま）
- ・庄子恵実・川崎興太（2015）「福島県における都市再生整備計画事業によるまちづくり施策と事後評価の分析」『2014 年度日本都市計画学会東北支部研究発表会発表予稿集』論文番号 19（口頭発表：2015 年 3 月 8 日、コラッセふくしま）
- ・小室和也・川崎興太・今西一男（2015）「郊外住宅団地の居住実態と子ども世代の居住動向に関する研究－福島市蓬莱団地を事例として－」『2014 年度日本都市計画学会東北支部研究発表会発表予稿集』論文番号 21（口頭発表：2015 年 3 月 8 日、コラッセふくしま）